

伊豆長岡温泉の再生に向けた地域資源調査

日本大学 国際関係学部 宮川ゼミ

指導教員：教授 宮川幸司

参加学生：叶苗苗、甲斐七海、榎田幸平
坂本梓、鈴木拓海、並木柊輔、松井祐也
松本隆嗣、宮下滉希、山田瑛美、他

1：要約

歴史と名声を誇ってきた伊豆長岡温泉であるが、近年は誘客に苦慮する現状がある。2 度にわたる視察と調査、また温泉場通りの活性化イベント等に参加することを通して現状と課題を把握し、これまで以上にこの地域で観光および宿泊をしてもらうための提案を行った。

2：研究の目的

伊豆を代表する伊豆長岡温泉は、狩野川添いの歴史ある古奈温泉と、源氏山を挟んだ反対側に位置する比較的新しい長岡温泉を併せて呼ぶ名称である。伊豆地域の温泉は、どこも高度経済成長期およびバブル期までの団体旅行で賑わったが、現在はその頃の宿泊客数にはほど遠い状況であり、伊豆長岡温泉も例外ではない。特に長岡温泉のメインストリートである温泉場通りは、現在 4 軒の大型旅館が休業しており、それら休業の旅館建物が醸し出す景観と宿泊客数の減少という現実が相まって危機感を募らせる状況になっている。

今回の研究は、地域の人々が温泉とともに暮らし続けられる町を作るため、温泉という資源を生かし、観光客を招くための企画を学生の視点と地域調査のデータから考察し、伊豆長岡温泉および伊豆の国市を活性化させる提案をすることが目的である。

3：研究内容

伊豆長岡温泉の活性化を行うために、伊豆長岡温泉の歴史や文化を知り、その上で現地調査を行い、伊豆の国市役所にて改善案・活性化案を提出した。

① 伊豆長岡の歴史と文化

伊豆の国市は、静岡県伊豆半島北部に位置する人口 4 万 8000 人の市である。2005 年に、伊豆長岡町と大仁町、菰山町が合併して伊豆の国市となった。伊豆の国市には、葛城山に登るロープウェイがある伊豆の国パノラマパーク、2015 年に世界遺産に登録された菰山反射炉を築造した江川担庵の江川邸、国宝に指定されている運慶作の仏像 5 体が保存されている願成院など、さまざまな観光資源がある。現在の伊豆では熱海と伊豆長岡にしかない芸妓の文化も残っている。また、隣の沼津市にはイルカの飼育のパイオニアである伊豆・三津シーパラダイスも近い。

現在の長岡地区の温泉街は人通りが少なく、前述の4軒の休業している旅館建物もそのまま存在している。しかし休業中の旅館の1軒を利用した「お散歩市」と呼ばれる地域活性化イベントが月に一度地元の有志の方の手で開催されており、私たちも参加させていただいた。

伊豆の国市は歴史の街であり、かつては温泉街も芸妓や団体の旅行客でにぎわいを見せていたが、現在の長岡温泉の温泉場通りは人影もあまりなくさびれて見える。夏に開催されるあやめ祭りなどのイベントが開催されると若者がちらほらと見受けられるが、基本的には地元のお年寄りの方の姿が多く見受けられる町である。

② ゼミ研修を通じての現地調査

まずは、伊豆長岡温泉とごく周辺の知識を得るために日帰りで伊豆長岡温泉を視察

(1) し、別の日程で伊豆長岡温泉だけではなく、伊豆の国市全体の観光振興を考えるために市全体の観光資源を周遊する調査(2)を行った。

(1) では、三養荘の施設内の見学、伊豆パノラマパークのロープウェイへの乗車、4軒が休業している長岡温泉街の現状の見学を行い、伊豆長岡の現状を理解した。

(2) では、源頼朝が配流された蛭ヶ小島、韮山代官江川担庵の江川邸、国宝に指定されている運慶作の仏像5体が保存されている願成就院、2015年に世界遺産に登録された韮山反射炉など伊豆の国市の観光地を、ボランティアガイドの説明を聞きながら観光客の目線で周遊し、長岡温泉の旅館に宿泊した。ちなみに、今回の調査に当たった学生の大半は県外からの学生で伊豆は初めてという学生も多かったため、この年代の観光客の目線として有効なサンプルになるということで各観光資源に対するアンケート調査を実施した。下記がその結果である。

観光施設	とてもよかった	よかった	普通	あまりよくなかった	よくなかった
蛭ヶ小島	3.0	21.2	39.4	36.4	0.0
江川邸	24.2	48.5	21.2	6.1	0.0
韮山反射炉	12.1	63.6	21.2	3.1	0.0
願成就院	39.4	36.4	15.2	9.1	0.0
長岡温泉街の感想	18.2	39.4	21.2	21.2	0.0
長岡温泉での宿泊施設の感想	60.6	36.4	3.0	0.0	0.0

「伊豆の国市の観光資源の感想」(回答者33名)、数字は%

以上の結果を踏まえた上でSWOT分析を行い、より理解を深め、更にゼミ内のグループごとに課題の抽出と提案できるアイデアの検討を行った。

4：研究の成果

上記①と②を基に、当初の目的である伊豆長岡温泉街および伊豆の国市の活性化を行うための企画案を作成した。伊豆長岡温泉に来ていただくにはどうすべきか、宿泊してもらうための周辺地域の施設活用をいかにして行うかを考慮した。完成した企画案を、伊豆の国市役所の担当の方や伊豆の国市観光協会の方にプレゼンテーション方式で提案し、意見交換をし、より深掘した企画案を提出した。



「伊豆の国市役所での提案発表風景」（伊豆の国市役所にて）

5：地域への提言と評価

ここでは、私たちが伊豆の国市役所で行った数々の提案から、いくつかをピックアップし、それに対する評価とともに紹介する。

- ①～Always～温泉場の夕日：伊豆長岡の昭和レトロな街並みを活かしたまちづくりの提案。街並みのイメージアップや空き店舗対策により滞在時間を延ばし、経済効果を高める。
 - （評価）過去に何度か検討をされた部分はあるが、具現化には至っていなかった。廃旅館対策と併せて賑わいづくりの手法および空き店舗活用の一環として検討したい。
- ② 伊豆長岡の名物提案：伊豆長岡で採れるフルーツやお茶を使用した名物を考案した。フルーツティー（ホット、アイス）、フルーツアイス、どら焼き、団子などで、フルーツで伊豆長岡のイメージを定着させ、また SNS 映えするので情報を拡散できる。
 - （評価）ディステーションキャンペーンにて、近隣のお店にいちごを使った商品を開発してもらっているが、実現可能かどうか、関連の事業所や団体に提案してみたい。
- ③ パネルを使って長岡をアピール：投稿パネル、吹き出しパネル、小物パネルを使ってもらい、写真で伊豆長岡を発信してもらう。
 - （評価）かつてはあったが、フレームが痛んだため撤去してしまっていた。丈夫なもの

のにアップデートすると同時に、ハッシュタグを印字して投稿にタグをつけてもらえるようにする。また、伊豆の国市役所が運営しているインスタグラムに閲覧数が伸び悩んでいるので、対策が必要である。

- ④ 伊豆の国パノラマパーク DE 楽しむ～足湯と地酒の星空鑑賞ツアー：夜には使われていない伊豆の国パノラマパーク空中公園富士見テラスを有効活用するツアーの提案。
－（評価）運行にあたって事業者との打ち合わせが必要である。検討したい。
- ⑤ 看板の補正：老朽化が進んだ看板の整備。立ち止まって見たいと思う看板の作成。
－（評価）補正にあたり、周遊を促すモデルコース、また所要時間などの提示も考えます。
- ⑥ 多言語化：インバウンドが増加している状況とその利便性を図るために必要。
－（評価）多言語化の推進は課題として捉えているが、定義がないため今後は業界等を巻き込み再検討したい。
- ⑦ 広告ポスターの提案：若い人向けのポスターの作成。
－（評価）ポスターデザインの意図は良い。QR コードの貼り付けの提案は参考にした
い。
- ⑧ 体験型日帰りバス旅行「世界遺産と伊豆長岡季節の旅」：伊豆長岡の「明るい」ところをピックアップ。四季のどの季節でも楽しんでもらえる旅を提案。
－（評価）市内周遊のバス旅行は盲点。インバウンドなどのターゲットを絞った商品として成立するのではないか。

以上が提案したいいくつかの企画案とその評価である。この提案の中からもいくつかでも実現されたなら幸いである。

また、折角できたつながりなので、伊豆長岡温泉、また伊豆の国市の今後の活性化の状況を見守って行きたい。



「提案事項に対する意見交換と評価を聞く」（伊豆の国市役所にて）